

京都市立芸術大学美術学部同窓会展

「戦ったあとの美術 -1950 年代を中心に-」

展覧会名称	京都市立芸術大学美術学部同窓会展 「戦ったあとの美術 - 1950 年代を中心に -」
会期	2013 年 3 月 16 日 (土) ~ 3 月 31 日 (日)
開館時間	11:00 ~ 19:00 (最終入場 18:45 まで)
休館日	月曜日
主催	京都市立芸術大学、京都市立芸術大学美術学部同窓会
会場	京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA @KCUA1
観覧料	無料
お問い合わせ	075-253-1509

■本企画について

本展は、日本美術の歩みを本学美術学部同窓会員の作品によってたどる展覧会企画の第三回展です。今回は終戦から 1950 年代に焦点をあて、美術における「戦後」を振り返ります。

もはや終戦から 70 年近くが過ぎようとし、語り継ぐ人々も少なくなりつつある今日、若い世代にとって戦後とは、実感のない、記録や物語あるいはノスタルジーの中でのものとなりつつあります。ただ戦後を、人類が危機的状況を克服した軌跡と理解するならば、それは震災や原発事故といった悲劇に直面した我々の時代と重ね合わせることが出来ます。

終戦から 1950 年代までの時代とは、戦後体制の確立と冷戦や内戦のはじまりという新たな不安状況の中でのヒューマニズムが問われた時代といえるでしょう。そのような時代に、美術の世界では、ジャンルを問わず様々な美術運動、展覧会が生まれ、協調し、あるいは拮抗しながら大きなエネルギーを生み出していました。

本展では、こうした背景の下、京都市立美術専門学校、さらに京都市立美術大学へと生まれ変わるこの時代に教鞭をとっていた教員や学生達の作品を展覧し、美術にとっての「戦後」を、今の若い世代に伝えることを主眼とします。

同シリーズは今後、社会闘争と高度成長期の 60 年代、さらにオイルショックと消費社会の 70 年代へと続いてゆきます。

PRESS RELEASE

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS **ART GALLERY**
京都市立芸術大学 ギャラリー・アクア [堀川御池ギャラリー内]

お問い合わせ: 075-253-1509 infokcua@gmail.com

<http://www.kcua.ac.jp/gallery/>

■出展作家、出展作品一覧（予定）

山本友克	「家」	美専絵画科卒業作品	1948
濱田昇児	「比叡山」	美専絵画科卒業作品	1949
大野幹彦	「風景」	美大日本画科卒業作品	1954
阿部佳男	「静物」	美大西洋画科卒業作品	1954
城了治	「ポスター Atomic Bomb」	美大工芸科図案専攻卒業作品	1954
柳原良平	「ポスター（原子工業株式会社）」	美大工芸科図案専攻卒業作品	1954
平田自一	「戦乱と愛のうた」	美大工芸科図案専攻卒業作品	1955
内田宏	「天体・地上・人」	美大西洋画科卒業作品	1956
欠田誠	「作品」	美大彫刻科卒業作品	1957
山田沙	「立像」	美大日本画科卒業作品	1958
大嶋八重子	「音楽家の肖像」	美大西洋画科卒業作品	1958
井上平八郎	「鎧」	美大彫刻科卒業作品	1958
中谷健三	「白昼」	美大西洋画科卒業作品	1959
林剛	「ある試作」	美大西洋画科卒業作品	1960
江口晃	「壺」	美大工芸科陶磁器専攻卒業作品	1960
西真	「筍」	美大日本画科卒業生	1951
	「大根」		1960